

2. Sozhavandan Girls Higher Secondary Schoolの給水改善(インド)

- 実施団体: VOC Rural Development Centre (VOCRDC)
- 実施地: インド タミル・ナードゥ州マドゥライ県
- プロジェクト費用: 2,070ドル (JWFファンド1,500ドル、受益者150ドル、団体270ドル、その他団体(PTA)150ドル)
- 受益者数: 1,700人 (生徒1,500人、教職員50名、地域住民150人)
- 実施地の水問題:
ソザヴァンダン女子高等学校では、飲料水が不足している。学校には古くて小さな水タンクと腐食した給水設備しかない。既設の水汲み用電動モーターは故障中で、学校の生徒や教職員スタッフには乏しく汚染された水しか供給がなく苦しんでいる。喉の渇きを癒すために、一部の子どもたちは学校の近くにある井戸、池、湖から水を飲んでいる。こうした状況なので、子どもたちは多くの危険な水系疾患に感染している。最近、学校の近くの池から水を汲もうとした生徒が一人溺れて亡くなった。

【実施前】



錆びた既存井戸



井戸水源予定地

- 主な活動内容: 水源の確保(打ち抜き井戸1カ所と揚水用水中ポンプ設置)、給水管路、受水槽、給水栓の設置、維持管理委員会の結成等。
- 特長: 学校側と地域側代表者が参加する維持管理委員会によって、使用状況、水質と財務状況を監視する。
- 実施団体: 1996年設立。タミル・ナードゥ州を中心に、女性と子どもの地位向上と貧困者の救済活動中。水分野では多数の学校や村落の給水衛生改善、家庭用低コストトイレ設置普及活動の経験あり。

2. Sozhavandan Girls Higher Secondary Schoolの給水改善(インド)

【実施中】



打ち抜き井戸鑿井工



水中ポンプ電気工

【実施後】



学校長、実施団体事務長と
新しい給水システム



JWF名付給水栓貯水槽と
学生たち



Ms. Ramaya さん (42歳)

新しく安全な給水システムは、私たちの学校にとってゲームチェンジャーです。以前は、清潔な飲料水の不足で学生や職員は脱水症状や水系感染症に苦しんでいました。このプロジェクトで、学校全体にアクセス可能な信頼性の高い給水源が確保されました。学生たちは渇きに気を取られず、集中して学業に取り組めます。この貴重な施設に心から感謝しています。



Mr. Prakashさん (35歳)

維持管理委員として、この重要な資産の当事者となりましたが心強いです。研修で給水施設の性能を保つ知識と技能を身につけました。外部支援に頼らずに、小さな問題に迅速に対処できて安心です。このプロジェクトは清潔な水だけでなく、地域に責任感を植え付けました。



Ms. Priyaさん (14歳)

新しい給水システム施設が導入される前は、学校に行くのが嫌でした。常に喉が渇くので、時には安全ではない水源へ水汲みに行き授業を休んで健康を危険にさらしていました。しかし今では、脱水症状を気にせず勉強に集中できます。清潔な水飲み場が便利などころにあって、お水は新鮮で美味しいです。学習環境が大幅に改善されて、この施設に感謝しています。